



春日井ロータリークラブ 2011～2012年度 WEEKLY REPORT

クラブテーマ

仲間を増やし、 思いやりの心を育もう

会長：風岡 保広 例会日：金曜日 12:30～13:30
副会長：清水 勲 例会場：ホテルプラザ勝川
幹事：北 健司 事務局：春日井市鳥居松町 5-45
会報委員長：志水ひろみ TEL:(0568)81-8498 FAX:(0568)82-0265
E-mail : ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp



2011年10月14日(金)第2065回(10月第2例会)

本日のプログラム

- 司会 加藤久仁明君
風岡 保広君
- ・点 鐘
 - ・ ROTARY SONG 「われら日本のロータリアン」
 - ・ 今月の歌 「野菊」
 - ・ ビジター紹介 風岡 保広君
 - ・ 食事・歓談
 - ・ 委員会報告
 - ・ 祝 福
 - ・ ケローナ青年大使クラブ訪問
 - ・ 卓 話 足立 治夫君
 - ・ 幹事報告 北 健司君
 - ・ 点 鐘 風岡 保広君

先週の記録

会長挨拶 会長 風岡保広君
今日は、東尾張分区ガバナー補佐 河村金明様をお迎えして、10月度第1例会を開催いたします。河村ガバナー補佐は、1980年に岩倉ロータリークラブに入会され、幹事・副会長等を経た後1990年会長を歴任されました。

今日は、いろいろご指導賜りますよう宜しくお願いいたします。

今日は、職業奉仕ならびに米山月間になっておりますが、10月28日の第4例会にて地区の職業奉仕委員会に出向されております、場々会員から職業奉仕について卓話をさせていただきますので、私の方からお話はいたしません。11月18日に職場例会ということで、中部電力浜岡原子力発電所を見学いたします。この件に関して、9月の理事会で承認をいただきましたが、メンバーの高橋理江さんには大変お世話になります。宜しくおねがいいたします。

次に、米山奨学委員会ですが、ロータリーの理想とする国際理解と相互理解に努め、国際親善と交流を深めるために優秀な留学生を支援し、世界平和の創造と維持に貢献することを目的に設立されました。日本全国のロータリアンの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に対して奨学金を支給しています。現在800名の奨学生がおりますが、奨学支援に必要な経費は14億5000万円ですが、寄付収入は13億円で1億5000万円の不足がでております。米山奨学会から寄付増進の要請がきておりますので宜しくお願いいたします。

今月の歌

野 菊
遠い山から 吹いて来る
こ寒い風に ゆれながら
けだかく きよくにおう花
きれいな野菊 うすむらさきよ

今月の祝福

会員誕生日

17日 足立 治夫君 30日 高木 修君

夫人誕生日

6日 清水 勲君・政子さん

結婚記念日

3日 塚本 兼光君 5日 小島 啓治君
9日 松尾 隆徳君 11日 山口 由起君
18日 社本 太郎君 18日 伊藤 正之君
19日 岡田 義邦君 22日 磯野 俊雄君
24日 小川 長君

新世代のための月間

例会予定	10月25日(火)	10月28日(金)	11月4日(金)	11月11日(金)
	10月21日変更 ガバナー公式訪問 栄東急イン 12:30	卓話 場々大刀雄	理事役員会 11:30 卓話地区財団委員長 深谷 友尋君	祝福 卓話

ホームページ：<http://www.kasugai-rc.jp>

E-mail：ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp

それから最後になりましたが、次年度（2013～2014年度）の理事役員候補指名委員会を設置いたしましたので、ご報告をいたします。春日井ロータリークラブ内規の2により指名委員会は、直前5期までの元会長と現会長。現幹事および会長エレクトとすることから、これから発表いたします会員に指名委員の委嘱をいたします。

パスト会長
 小島 啓治君 清水 勲君 松尾 隆徳君
 山田 治君 社本 太郎君
 会長 風岡保広君
 会長エレクト名畑豊君
 幹事 北健司君

内規 2の4に会員は10月20日までに、指名委員会に理事・役員候補者を書面により推薦することができるとしておりますので、20日までに推薦者がお見えになりましたら、お願いいたします。以上です。ありがとうございました。

幹事報告 幹事 北 健司君

地区 広報・雑誌委員長会議開催の案内
 日時：2011年11月8日（火）
 場所：名鉄グランドホテル
 出席予定者：伊藤純広報委員長もしくは大畑一久雑誌資料委員長

地区 指導者育成セミナー開催の案内
 日時：2011年11月19日（土）
 場所：ウェスティンナゴヤキャッスルホテル
 出席予定者：名畑 豊会長エレクト、志水ひろみ副幹事

指名委員会の開催
 日時：2011年10月28日（金）
 場所：ホテルプラザ勝川 ソレイユ

例会変更のお知らせ

羽 島 RC	10月18日(火) 10月15日(土) 合同例会の為フォーラムホテル
岩 倉 RC	10月18日(火) 10月18日(火)12:30 例会場都合の為 生涯学習センター
愛知長久手 RC	10月18日(火) 10月16日(日)14:30 家族会の為 ブルーノート
岡 崎 南 RC	10月18日(火) 10月18日(火)12:30~ ガバナー公式訪問の為 ニューグランドホテル
名 古 屋 東 RC	10月17日(月) 10月18日(火)18:00~ 夜間例会の為 八勝館
津 島 RC	10月14日(金) 10月14日(金) ガバナー公式訪問の為名鉄グランドホテル
名 古 屋 名 南 RC	10月18日(火) 10月18日(火) 職場例会の為 カネハツ食品

多治見リバーサイド RC	10月11日(火) 10月12日(水) 合同例会の為産業文化センター
名古屋丸の内 RC	10月13日(木) 10月13日(木) 家族会の為 御園座
名古屋城北 RC	10月18日(火) 10月18日(火) 家族会の為 未定

ビジター紹介 会長 風岡 保広君
 東尾張分区 ガバナー補佐 河村 金明君
 東尾張分区 補佐幹事 浅野 勝美君
 地区スタッフ 森 眞君

出席報告 委員長 蓮野 美廣君

会員 51名	欠席 11名	出席率 88.9%
先々週の修正出席	欠席 1名	出席率 98%

ニコボックス報告 委員長 中川 健君

春日井 RC を訪問して。東尾張分区ガバナー補佐河村 金明君、分区幹事 浅野 勝美君

春日井 RC を訪問して。
 地区副幹事 森 俊一郎君
 川村ガバナー補佐をお迎えする喜びで。

風岡 保広君
 ガバナー補佐河村金明君をお迎えした喜びで。
 清水 勲君
 河村ガバナー補佐をお迎えできる喜びで。

北 健司君
 ガバナー補佐をお迎えして。近藤 太門君
 ドラゴンズ首位に立ちました。成瀬 浩康君
 ガバナー補佐をお迎えして。菅原 幹夫君

磯野 俊雄君 林 徹君 和田 了司君
 伊藤 正之君 社本 太郎君 足立 治夫君
 蓮野 美廣君 太田 弘道君 場々大刀雄君
 長谷川英輝君 塚本 兼光君 名畑 豊君
 大畑 一久君 峠 テル子君 林 憲正君
 大橋 完一君 宅間 秀順君 貴田 永克君
 林 鑛三君 加藤 茂君 早川 八郎君
 浅井 瀧治君 加知 康之君 志水ひろみ君
 亀谷 鉦一君 岡田 義邦君 高橋 理江君
 屋嘉比良夫君 小島 啓治君 松尾 隆徳君
 山田 治君

卓話 東尾張分区ガバナー補佐 河村金明君
 私のロータリー雑感

東尾張分区のクラブ訪問により、卓話をするに当たり、東尾張分区に於いて、ロータリアンとして過ごした過去を振り返り、感じたことを、雑感として述べてみたいと思います。

先ず、東尾張分区の各クラブの実態を理解するために、別紙のとおり前年(2010年6月30日現在)のクラブ計画書により、実態調査をさせていただきました。

1. 現在の会員数と過去の最多の会員数を比較してみると表の通りで、最多の会員数の時より半減

しているクラブが、11クラブ中4クラブとそれに近いクラブを入れると、実に5クラブにのぼり、平均でも36%減で、かつて、経験したことのない大激減を経て、現在に至っています。この大変動について、検証してみると、まず、最多の会員数の時期である2000年前後の好景気の時期を境に、景気の後退と共に、企業の悪化に伴って、大幅に会員数が、減少しています。戦後の日本のロータリーは、経済の高度成長の波に乗り、クラブ数及び会員数は、急拡大してきました。そして、今回の大激減は、日本のロータリーが、一本調子で走ってきた在り方に、今まで見えなかった本来のロータリーの姿が、見えてきたような気がします。

私たちは、この貴重な体験を学習することにより、これからのクラブの発展に生かしていきたいと思えます。また、こうした会員の変動も少なく、安定した運営をしているクラブもあります。

2. 次に現在の会員を入会年数と年齢により分類してみると、分区平均で入会年数が10年以内の会員数は、40%で、この10年以内の会員数は、これからのクラブを背負っていく会員の数ですが、将来のクラブの発展を考えれば、50%程度の会員数が必要と思えます。特に3年以内は、15%で、欲を言えば、20%程度必要と思えますが、会員増強のむつかしさを物語っています。また、年齢で見ると、60歳以上の会員は、分区平均で62%占めており、この年齢層は、病気になる確率が高く、さらに、高齢化により、退会も増える年齢層でもあります。そして、70歳以上の会員は21%にのぼり、この高齢会員の二世会員の入会を促進する必要がありますが、何か良い方法はないでしょうか。

1. 会員の平均年齢は、分区平均で62歳であり、高齢者(65歳)入りは、目前であります。さらに、その数年後に、高齢化がやってきます。今、若年層の入会に努力し、平均年齢の若返りを図っていかねばならないと思えます。

2. 当分区の女性会員は28名で、全体に占める割合は5%、地区平均が3%ですので、大変優秀です。しかも、前年と当年度で、2名の会長を出しており、2名とも、行動的で歯切れがよく素晴らしい会長さんです。

日本のロータリークラブは、男性社会の中で、誕生したため、女性会員は、近年になって増えはじめました。ロータリーの発足当時より、女性会員の扱いは、1業1会員制の原則により、その業種に、女性が、最も優秀であれば、男性に関係なく、その女性が選ばれます。この取り扱いは、アーサー・フレデリック・シェルドンにより、明確になり、外国では、結構、女性会員も多く、さらに、ガバナーも数多く出ています。

女性会員の入会は、クラブを明るくし、女性特有の気配りもあり、クラブを和ませてくれます。更に責任感も強く、行動も、しっかりしていることから、クラブの活性化に良い影響を与えることと思えます。松前憲典ガバナーも女性会員の増強を強く希望していますので、是非、女性会員の入会をお願いします。

1. 例会出席率についてしてみると、分区の年平均では、97.03%で、内100%出席のクラブが、3クラブあります。地区平均は、94.06%(平成22、7月)地区内8分区では、当分区の出席率が一番高いです。更に、全国で見ると、地区が34地区あり、そのうち第2760地区の会員数及び出席率は、全国1位です。従って、東尾張分区の出席率は、日本一ということになり、私たちは、日本を代表する地区として、そして、分区として、誇りをもって頑張っていかなければいけないと思えます。

ロータリーに於いては、1905年の創立当初より、例会が、クラブの柱となってきました。この例会は、出席強制の厳しい制度で、このような厳しい規律による例会を続けてきたからこそ、凛としたロータリーを、創立当初より、現在まで、支えてこれたものと思えます。

そして、日本のロータリーの創立者である米山梅吉は、例会を人生道場とたとえており、ロータリアンを鍛え、養成する場となってきました。

1. 各クラブの財政と事業の活動状況について、見てみますと、会費は、別表の通りで支出額から見て、おおむね妥当な額ではないかと思えます。

次に、管理費、例会費はクラブの運営の基本的な固定費であり、この比率が、高くなると、財政の硬直化が、問題になります。事業費、周年事業積み立てなどに、余裕をもって、予算を組む必要があります。

奉仕活動について見てみますと、特に新地区補助金にかかる社会奉仕事業は、当年度は、東尾張分区全クラブが、実施し、その内容を見てみますと、地元のニーズに応じたものが多くなっているように思います。

これからの社会は、少子化、高齢化、さらに東日本大震災による影響等により、大変厳しいものになっていくと思われ、みんなで支えあっていかなければ、やっていけない時代が到来します。

ロータリークラブは、これからも、地元地域社会の中で、一層の地域のニーズに合った活動することにより、地域の一員として、世間から認められた存在感のあるものにしていかねばなりません。

地域社会から身近な存在とみられるようになれば、私たちの奉仕活動に共感した仲間も、増えてくると思えます。

2. 最後に、ロータリーのルーツをたどり、ちょっと楽しい空想をしてみました。

(1)ロータリークラブは、1905年ポール・ハリスにより、創立されましたが、会員になれるのは、1業1会員制で、業種毎に一人の職業人ということになり、おそらく、その地域の優秀な職業人が、会員に選ばれたものと想像され、まさに狭き門でした。そして名実ともに優秀な会員によるクラブであり、世間から見れば、選ばれた者によるエリートの集団とみられ、羨望の的ではなかったかと思えます。

(2) 1911年は、ちょうど、いまから100年前のことですが、ロータリーが、創立時からの親睦と相互扶助を中心としたクラブから、今の私たちのロータリーとしてスタートした記念すべき年です。ポール・ハリスは、ロータリーを社会に役立つクラブにしなければ、今後生き残れないと危機感を感じ、今後の在り方について、アーサー・フレデリック・シェルドンというシカゴ大学をでた若い理論家を指名し、検討をさせました。シェルドンは、当時の商道德も地に堕ちた荒れた時代にも、事業に成功している事業家が多数おり、そうした事業家に共通しているのが、公明正大な商取引をし、お客の信用を得ていたということから「他人の立場に立って、他人に尽くしたこと」が成功の理由と分かり、「最善のサービスをする者には、最大の利得がある」を提言しました。更に、同じ時期に、フランク・コリンズというミネアポリスロータリークラブの初代会長が、私利私欲を捨てた奉仕「無私の奉仕」のちに「超我の奉仕」と変更されましたが、この二つの提言が、1911年ポートランドの全米ロータリー連合大会で、承認され、ここに、奉仕の精神を柱としたロータリーが誕生しました。のちに、1923年、セント・ルイス大会「決議23-34」となります。

(3)米国の1900年代は、秩序の乱れた大変な時代で、暗黒街の帝王マヒア・アルカポネが、禁酒法に乗じて、密造酒により巨額の荒稼ぎをし、シカゴのゴットファーザーが裏社会を支配し、1929年より大恐慌が始まりました。ニューヨーク株式市場の大暴落、銀行等の倒産が起き大波乱の時代でした。さらに、ロータリアンであったケネディ大統領が、1963年暗殺され、マフィアによるものといわれています。

こうした暗い荒れた時代に、ロータリーは誕生したのですが、ロータリーの高い道徳性(相手に思いやりをもって、正しいことをする)、超我の奉仕により社会に尽くす(弱者を助ける)という奉仕の精神は、世の中に受け入れられ、多くの人々に希望を与え、世界に急速に広がっていきました。さらに1915年サンフランシスコ大会に採択され

た道徳律では、高い道徳性と正義をもって、世の中に尽くすように言っています。

まさに、ロータリアンは、選ばれたエリートであり、社会に正しいことをして尽くす「正義の騎士」のような存在ではなかったかと思えます。私たちは、過去のロータリアンの偉大なDNAを引き継いでいます。時代こそ変わりましたが、ロータリアンであることに誇りを持ち、自分を磨き、これからの時代を切り開いていかなければならないと思えます

第2回クラブ協議会(ガバナー補佐訪問)議事録

日時: 23年10月7日(金) 13:30分~

場所: ホテルプラザ勝川

出席者: 河村 金明 ガバナー補佐
 浅野 勝美 分区幹事
 森 真 地区スタッフ

司会 北 健司幹事

それでは第2回クラブ協議会を始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

風岡保広会長挨拶

7月にスタートしまして、早いものでもう3カ月を経過致しました。今日は10月の第一例会にガバナー補佐をはじめ2名の方々を迎え、そしてクラブ協議会を開催させていただきます。クラブ計画書には、たくさんの計画が盛り込んでありますが今年度は会員増強が重要な事業であり、月に一回増強委員会を行い取組んでおります。残念ながら実績はまだありませんが、これから上がってくると思いますので皆様のご協力をお願いします。

河村金明ガバナー補佐挨拶

春日井ロータリークラブのクラブ協議会に参加させて頂くのは、今日で10クラブ目になります。それぞれのクラブがそれぞれの立場で計画を立てて、色々工夫してやってみえます。今日は各委員長さんから事業についての意見を聞かせて頂いて、私も一緒に勉強させていただきますのでよろしくお願いいたします。

各委員長報告

クラブ奉仕委員会 山田 治委員長

先般地区クラブ奉仕委員長会議に出席してきました。一貫して「会員増強」が主題でありました。当クラブも会長方針のもとに会員増強を目指しているのでよろしくお願いいたします。ポイントは2つあります。効果的なクラブ運営の為にクラブリーダーシッププランを含めた春日井ロータリークラブが取り組むべき課題を整理し、長期目標を立案できる委員会を目指す。同じく効果的な運営のためクラブの定款・規約・規則の見直しと整備を行う。以上を中心にクラブの活性化をしていきたいと考えております。

親睦活動委員会 長谷川英輝委員長

親睦活動はロータリーの基本であります。「仲間を増やし、思いやりの心を育もう」の方針に基づき、なるべく多くの会員が気軽に参加できる企画を考えています。

会場委員会 伊藤 純委員長

風岡会長方針に基づき、プログラム委員会・親睦委員会と連携を図り、楽しく有意義な雰囲気例会が作れるように取り組んでいます。

プログラム委員会 近藤太門委員長

地区で開催される各委員長会議をタイムリーに報告してもらうことと、普段あまり話されない人に卓話をしてもらうことをポイントに進めています。

出席委員会 蓮野美廣委員長

ロータリークラブの基本は出席からということですから、人に出席を促す前に自ら出席することに努めています。出席報告の発表の場が出席率向上に繋がるものであると思いますので継続して行っていきたいと考えています。

ニコボックス委員会 小島啓治副委員長

ニコボックスは、例年通り会員の皆様からコメント頂いて会報に記載しています。今の所順調に進んでいますので皆様のご協力をお願い致します。色々な費用の活用を含め運営させて頂いていますのでよろしくお祈りします。

クラブ会報委員会 志水ひろみ委員長

会報を通じて、クラブの情報と地区出向者の活動状況を正確かつ迅速に報告することを基本として、間違いのない紙面作り取り組み活動しています。

広報・IT委員会 伊藤 純委員長

ロータリークラブはライオンズクラブに比べて認知度が低いと言われています。現在、春日井商工会議所の一階に会報を置かせて頂き広報活動をしています。新しく置くところがありましたら連絡をお願いします。今後とも積極的に広報活動を行い、クラブの認知度を上げていきたいと考えています。

雑誌・資料委員会 大畑一久委員長

「ロータリーの友」「ガバナー月信」の愛読を勧めています。ロータリーの友の中に「言いたい・聞きたい」の欄があり、そこに原稿を載せてほしいとの依頼がありますので皆様のご協力をお願いします。

会員増強委員会 小島啓治委員長

ガバナー方針「会員増強とクラブの活性化」を基に取り組んでいます。当クラブも会長以下新会員の純増 10 名を目標に活動し、毎月の委員会で情報交換を行い活動しています。ガバナー補佐の例会での挨拶でありましたように、当クラブは会員の高齢化が進んでいますので、40代 50代の候補者の発掘を青年会議所 OB 会員・商工会議所会員・元会員の御子息を中心に行っていききたいと考えています。

河村金明ガバナー補佐

クラブ奉仕委員会については、クラブの中核のメンバーが集まっているので会長・幹事と連絡を密に取り合い、全体を見渡し有効な活動を推進して頂きたい。ワールドカップの「なでしこジャパン」佐々木監督の話の中で、なぜ優勝できたかの問いに「団結力 規律 持久性があったから」と答えています。これは、ロータリーの運営についても同じであると思います。ぜひ春日井クラブも会員一丸となって取り組んで頂きたいと思います。親睦活動委員会については、会を有効に和やかに運営できる行事を、おおいに頑張ってください。会場委員会については、有意義な例会・厳格であり和やかな例会にして頂きたい。プログラム委員会については、全体を円滑に効率的に行い内容のあるものにしてほしいと考えます。出席委員会については、出席率は目標を立てることが必要です。たとえば目標 98%にするのも一つの方法ですし、又例会の良い雰囲気を保つことも鍵となると思います。ニコボックス委員会については、ニコボックスの成績が良いクラブは、よくまとまっていると言われているので、頑張ってください。クラブ会報委員会については、最近 IT 化が検討されています。2~3 クラブではネット配信している所もあります。良い面も悪い面もありますが、IT 化を進めることも必要です。広報・IT 委員会については、情報の共有化・クラブと地区とを密にすることが必要であります。他のクラブのホームページを閲覧してみるのも参考になると思います。雑誌・資料委員会については、ロータリー情報を得る手段として、「ロータリーの友」の中の記事を例会で紹介しているクラブもあります。情報の提供により効果は上がると思います。会員増強委員会については、全員参加でないと効果・情報が出ないと思います。長期的な視野に置いて取り組んで頂きたいと考えます。

職業奉仕委員会 太田弘道委員長

今月は職業奉仕月間です。地区にお願いし卓話をして頂くことと、来月には中部電力浜岡原子力発電所への視察を計画しておりますので御協力をお願いします。又来年は日々地域で貢献していただいている方の卓話も行う予定です。

新世代委員会 和田了司委員長

先月強化月間でありました。次世代の若者を育成するのは、他のロータリークラブとの連携が必要です。活動の基本に帰ることの大切さをふまえて、今後とも春日丘高校のインターアクトクラブを、他クラブと協力して支援していききたいと考えております。

環境保全委員会 早川八郎委員長

創立 25 年記念事業として、全国のロータリークラブの友愛によって各地の県木市木を奉仕して頂

きました。昨年は COP10 を記念して月桂樹を植えました。市民に愛されているロータリー友愛の森の管理を、自然環境を考えながら長い年月をかけて取組んでいきたいと思ひます。

国際奉仕委員会 峠 テル子委員長

国際奉仕・世界社会奉仕・識字率向上に対する地区国際奉仕委員会の活動に積極的に協力していきます。又姉妹クラブ・友好クラブと力を合わせ、国際理解と親善及び平和の推進に努めます。7月22日の地区会議に出席してきましたが、活発な地区と活発でない地区がありました。春日井ロータリークラブは、あまり活発ではないクラブでないかと思ひました。12月10日にはタイで国際委員会がありますので、できれば参加し国際奉仕活動をしていきたいと考えております。

ロータリー財団委員会 場々大刀雄委員長

11月が財団月間となっています。ロータリーはアイサーブであると思われるが、現在実行されているのは、全てウィサーブの感が否めないと思ひます。しかしながらこれも大切な事業でありますから、会員の皆様の協力を得て財団のために寄付をお願いしていきたいと考えております。

米山記念奨学委員会 松尾隆徳委員長

今年、米山奨学生の面倒を見る年ではありません。今月は推進月間ですが、春日井ロータリークラブは奨学会への寄付が他のクラブと比較して、低いようだと聞いておりますのでよろしくお願ひします。しかしながら、私は奨学生制度に少し疑問があります。最初は奨学生制度を利用して一生懸命勉強して、国に帰って頑張っていると思ひておりました。ところが、かなりの方が奨学期間が終了すると引き続き日本の色々な会社に就職している。それはそれでいいと思ひますが、何か違うのではないかと思ひます。今後とも米山奨学会の目的を再確認し取組んでまいります。

河村金明ガバナー補佐

職業奉仕委員会については、現在のままの活動で良いと思ひます。社会奉仕委員会については、最もやらなければならないのは、東日本大震災の支援であります。又地元地域をよく知ってニーズに合った活動をして頂きたい。新世代委員会については、次の世代を担うのは青少年ですので、3クラブで協力して活動して下さい。環境保全委員会については、続けることは大変かと思ひますが頑張って活動して下さい。国際奉仕委員会については、勉強するという心掛けが大切であり、お互いの友好を深めて活動して頂きたい。ロータリー財団委員会については、あまりアイサーブ・ウィサーブを区別しない方向に向かっています。税制優遇等がありますので、財団に寄付をお願い致します。米山記念奨学委員会については、続けていくべきことであり色々な意見はあると思ひますが、

皆様の協力をお願いします。

清水 勲副会長謝辞

本日は河村ガバナー補佐には、11時30分より会長・副会長・幹事の指導・教育を含め色々長時間に亘り、御指導頂きありがとうございました。今年のガバナー方針通り“会員増強”が重要課題であります。ガバナー補佐の話にもありましたように、春日井ロータリークラブは高齢化しておりますので、若い方々に入会して頂けるように頑張って取組んでいきたいと思ひます。皆様の健康とご多幸を祈念して閉会といたします。

司会 北 健司幹事

これで第2回クラブ協議会を終わらせていただきます。ありがとうございました。



(会長挨拶)



(ガバナー補佐挨拶)



(地区スタッフおよび分区幹事)

(クラブ協議会風景)



(クラブ協議会開始の会長挨拶)



(河村ガバナー補佐からの好評)





(清水勲副会長からの謝辞)



(北幹事 司会お疲れさまでした)